

社会・文化

経済

政治

WORLD

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 美食文学逍遥—福田育弘
- 42 新・不養生のすすめ—大西睦子
- 51 西風
- 59 交差点—読者の声・編集者の声



東シナ海の領空を守りつつ、繰り広げるのは「諜報戦」。中国人操縦士の声紋や性格を記録し、各人の技量を調べ上げる。有事の交戦に備え、日々繰り返す危険な駆け引き。緊急発進の空で何が起きているのか。(110頁)

- 108 中吊り泥棒「週刊文春」の唯我独尊
■墓場へ向かう「雑誌ジャーナリズム」
■日本のサンクチュアリ ● シリーズ 513
- 110 航空自衛隊「スクランブル」—東シナ海空の国境での日中の暗闘
- 88 皇室の風—岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 美の艶話—佐伯順子
- 94 本に会う—河谷史夫
- 96 をんな千一夜—石井妙子
- 114 マスコミ業界ばなし

- 60 中国金融界を食い荒らす「アリババ」—「電子決済」の猛威はやがて日本にも
- 62 ソニーが韓国LGに屈する「惨め」—「必敗の有機Eレテレビ」再参入
- 64 万年三位「三井物産」の惨めな未来
■「資源依存」経営の自業自得
- 67 連載「クロスアツプ」宮内正喜ラジアンレ次期社長—「日枝院政」七十三歳の番頭さん
- 68 三菱UFJ「平野独裁」が鮮明に
■頭取「突如辞任」の深刻な行内事情
- 70 「ぼったくり」LPガス業界の悪辣—全国「千四百万世帯」を「喰い物」に
- 72 「ニコン救済」富士フイルムが浮上
■「仕掛け人」は三菱UFJと経産省
- 74 経済●情報カプセル
- 78 連載「地方金融の研究」第四銀行—北越銀を併呑する公家集団
- 80 信金・信組に迫る「大量死」—終わらぬ「マイナス金利」の生贖たち
- 82 トヨタが中国市場で「落伍者」に—電気自動車「出遅れ」が致命傷
- 84 連載「企業研究」日本郵政グループ
■野村不動産買収の物悲しき「裏事情」



小誌が当初から指摘のとおり、高値づかみの海外企業買収で赤字転落。マイナス金利で頼みの金融2社もジリ貧。「野村不動産」に一発逆転を賭けるも、そこには野村證券の深謀が。株価上昇の兆しはみえない。(84頁)



勇ましかった「改憲宣言」は、与党内の護憲派を敵に回し、政権の寿命を縮める混乱を招いた。さらに加計醜聞では、官邸に従順だった霞が関で初の反旗が翻る。何をやっても「安倍免罪」は、ようやく終了だ。(48頁)

- 44 政治●情報カプセル
- 46 皇室を「やせ細らせる」安倍政権
■皇統安んずる承継を阻む「政治の不作為」
- 48 日本を腐らす「総理のご意向」
■「政治の私物化」で失速する官邸
- 52 連載「政界スキヤン」ポピュリスト安倍の「政略的」改憲論
- 54 創価学会に「すり寄り」安倍—改憲と長期政権維持への焦りから
- 56 政権とNHKに「北方領土」やらせ疑惑
■「アチン宛て」元島民の手紙の秘事
- 58 連載「罪深きはこの官僚」
藤原豊(内閣府地方創生推進室次長)—加計問題「村度行政」の手下人

- 3 連載「巻頭インタビュー」塩崎恭久(厚生労働大臣)—「受動喫煙防止」は政治家の責務
- 6 特別レポート
「トランプ依存」危うい日本
—泥沼「ロシアゲート」に沈む米政権
- 12 トランプ家の「経済犯罪」疑惑続出
■高まる「任期前退陣」の確率
- 16 ドイツ連邦軍に広がる「テチズム」—社会不安と外交に深刻な影響
- 18 WORLD●情報カプセル
- 22 シリア「日本人人質」はなぜ還らぬ
■身代金は「億円弱」まで下がったが
- 24 ロシアの北極圏「軍拡」が加速—「安保」環境で世界の新たな難題に
- 28 インドで広がる「イスラム国」—在留邦人「観光客」はテロに要注意
- 30 イランと米国の「衝突」は不可避—ロウハ「再選」でも緊張増す中東
- 32 凶暴さ増す北朝鮮「サイバー部隊」—世界各地で「カネ」と情報を「強奪」
- 34 嗚呼がっかりの台湾「蔡英文」—民心離反で早くも「後継探し」へ
- 36 孤独の皇帝「習近平」
■信頼できる盟友・側近が欠如
- 38 「一带一路」は中国を衰退させる
■新経済圏構想はただの「夢物語」



特別検察官のトランプ周辺への捜査は、タダ事ではすまない。政権への嫌悪感、米議会とメディア、さらには西欧の同盟国にまで広がっている。安倍とトランプの並外れた親密ぶりは、日本外交に災いしそうだ。(6頁)